GIS Day in 北海道 2016　G 空間情報セミナーのご案内

【開催目的】

本年 12 回目を迎える GIS Day in 北海道は、「これからの G 空間社会」をテーマにセミナーを開催します。我が国独自の衛星測位システムである「準天頂衛星システム」は、2018 年に 4 機体制となり、本格的な衛星測位のサービスが開始される予定です。また、地理空間情報活用基本計画（第 3 期）が議論される中、今後も GIS の更なる発展が期待されます。特に期待されているのが G 空間情報センター、自動車の自動走行、無人トラクターを用いた営農作業の効率化などです。そこでこの度、東京大学の柴崎教授を始め各界の皆様を迎えてセミナーを開催いたします。是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

（尚、この度のセミナーは（一社）建設コンサルタンツ協会継続教育（CPD）プログラム登録講習の予定です。）

記

■**開催日時**：2016 年 11 月 22 日（火）12:00 開場　13：00-16：50

■**開催場所**：札幌コンベンションセンター　中ホール

〒003-0006　札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1　　TEL　011-817-1010

■**プログラム**：

13:00-13:05　開会の挨拶

特定非営利活動法人 Digital 北海道研究会副理事長

酪農学園大学環境共生学類教授・農業環境情報サービスセンター長　金子　正美氏

13:05-13:25　オープニング：「地理空間情報を高度に活用できる社会（G 空間社会）の実現に向けて」

一般財団法人衛星測位利用推進センター顧問　吉田　富治氏

13:25-14:15　基調講演：「G 空間社会の展望と G 空間情報センターについて」

東京大学空間情報科学研究センター教授　柴崎 亮介氏

14:15-14:55　講演２：「自動運転システムと自己位置推定/地図生成」

株式会社トヨタ IT 開発センター開発・調査部調査・企画グループリーダー　加藤 整氏

14:55-15:30　講演３：「スマート農業への展開」　　北海道大学大学院農学研究院教授　野口 伸氏

15:30-15:40　休　憩

15:40-16:15　講演４：「ｽﾏｰﾄ農業・ｽﾏｰﾄなｲﾝﾌﾗ維持管理の実現における空間情報ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄの役割」

国際航業株式会社地理空間基盤技術部リモートセンシンググループ

プロジェクトマネージャー（空間情報利用推進）酪農学園大学特任准教授　鎌形　哲稔氏

16:15-16:35　事例紹介：「GIS を活用した基盤整備と地域支援」

北海道農政部農村振興局農村計画課主査　片桐 俊英氏

16:35-16:50　質疑応答

■**参加費**：一般 3,000 円、主催・共催団体・官公庁 2,000 円、学生　無料

■**振込先**：北洋銀行野幌中央支店（普）3955980　特定非営利活動法人 Digital 北海道研究会事務局

■**主　催**：特定非営利 Digital 北海道研究会、酪農学園大学

■**共　催**：（一社）地理情報システム学会北海道支部、北海道経済連合会

北海道産学官研究フォーラム、北海道 GIS・GPS 研究会、産学官 CIM・GIS 研究会

■**後援依頼先**：国土地理院北海道地方測量部、北海道、（一社）建設コンサルタンツ協会北海道支部

（一社）北海道建設業協会、（一社）日本写真測量学会北海道支部、（公社）土木学会北海道支部

（一社）北海道測量設計業協会、北海道高度情報化農業研究会、北海道 GIS 技術研究会

■**事務局・連絡先**：特定非営利活動法人 Digital 北海道研究会（担当　藤原）

〒060-0807　札幌市北区北 7 条西 5 丁目 6-1 ストークマンション札幌 507 号室

TEL　011-299-8104　FAX　011-299-5070　E-mail:office@dghok.com

GIS Day in 北海道　2016

参　加　申　込　書

申込み先：特定非営利活動法人 Digital 北海道研究会事務局：(担当：藤原)

お申し込みは、下記の URL のお申込フォームよりお願い致します。

https://eipo.jp/dghok/seminars/view/3842

FAX にてお申込みの場合は、下記参加申込書に必要事項を記入し送信してください。

FAX：011-299-5070

お申込ページの QR コード

2016 年 11 月 22 日（火）の「G 空間情報セミナー」に参加します。

所属（会社）名	部署	役職	氏名

申込み期限：2016 年 11 月 18 日(金)

【ご担当者】

所　属：　　部署　　役職

ご担当者：

住　所：

Tel:　　E-mail：

支払い方法：１・銀行振込　　２・会場支払　　（どちらかに○をつけて下さい。）

会員区分（主催・共催団体）：　１・会員　　２・非会員　（どちらかに○をつけて下さい。）

注１　・E-mail アドレスをお持ちの方は、連絡を行う場合がありますので必ずご記入お願いします。

注２　・情報につきましては、当研究会の連絡以外に使用いたしません。